



鮮さんま

(女川港水揚げ)

旬



女川港に早朝水揚げ→パックして11時
女川発→明朝生協着→組合員宅へ

11 2尾 320円 (税抜)

12 3尾 465円 (税抜)

(株) 千倉水産加工販売 女川工場が、大震災後の人で不足が続いているため、「鮮魚」での供給は今回9月4回と、10月1回の2回のみとなります。

水揚げ翌日お届け!

お刺身に



塩焼きに



No. 13 大根、No. 14 すだち、No. 52 しょうが、No. 54 大葉、No. 55 葉ねぎ、No. 310 生しょうゆ、No. 544 ゆず醤油かけぽん もごいっしょにどうぞ!

【供給担当より】 私たちが鮮度抜群のまま皆さまの元へお届け致します!

宮城県女川漁港で水揚げされた「さんま」を翌日に組合員さんに味わって頂くために供給部では「鮮さんまの鮮度保持体制」を組みます。



お届けは右のような単独のシッパーに二重の保冷剤で完璧を期してのお届け、みんなで頑張りますので、ぜひ旬を味わってください!

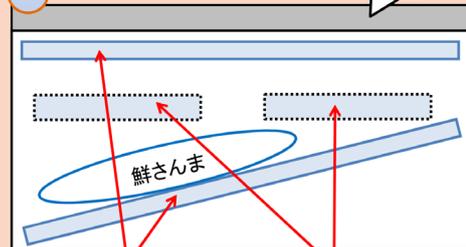
高鮮度なのでお刺身でも召し上がれますよ!

鮮さんま

ひとつのシッパー一箱に上下2重の蓄冷材と鮮魚用保冷パックに入れてお届けします!

保冷箱に凍結した蓄冷剤を斜めに1枚入れ、その上に鮮魚と鮮魚用保冷パックを2つ並べ、最後に凍結した蓄冷剤をもう1枚セットすることで、0°C~5°Cの温度帯をキープします。組合員宅の冷蔵庫に届くまで新鮮さを保ちます。今の時期の供給日は「さんまの日」にしませんか。

フタ



冷蔵用蓄冷剤

鮮魚用保冷パック

【台風10号 8.30岩手災害 常総生協支援レポート】

【第1陣】
9/2 夜2時
生協発



魚住さんからは沢山の野菜・卵、ワーカーズコープちば、フードバンクちばから水やアルファ米を頂きました。

盛岡ルートで、2日朝9時すぎ、ようやく岩泉町小川支所に辿り着く

150名が孤立していた岩泉町小川地区に常総生協がはじめて食糧・物資を届けることができ、みなさんに喜ばれました。



孤立した小川地区の避難所になっていた小学校に物資を。ここで落ち合えた工藤さん(左)と町の職員さん(中)

道路寸断のため太平洋側の久慈に出て迂回し、再び岩泉町中心部へ



道の駅いわいずみのようす



茂木さんと道の駅で会うことができました。



道の駅駐車場の流木と自動車



道の駅裏手の岩泉産業開発の事務所。水と泥で社用車が隙間に流されていた



道の駅の前に茂木さんが倉庫から運び出した龍泉洞の水を「どうぞ自由に」と

岩泉産業開発の工藤さん、茂木さんと連絡を取り合いながら（携帯電話も思うようにつながらないのですが）、物資がまだ届いていないと思われるところを目指しました。

私たちはトラックの通れる所しか行けませんでした。それでも大変な被害状況を目の当たりにしました。そんな中でも子ども達が大人と一緒に作業をしている姿が印象に残りました。

また工藤さん、茂木さんも事務所が壊滅なので当然仕事は出来ないのですが、工藤さんは地元の集

落で町職員と連携して私たちに逐次情報を寄せてくれました。

茂木さんとは現地入りしてから一切連絡が取れずに心配していたのですが、道の駅いわいずみ（産業開発の事務所）で会うことができました。茂木さんは泥の中からペットボトルの飲み物を取り出してきて、近隣の人達に配っていました。

あまりに被害が大きすぎてかける言葉も無かったのですが、がんばっているお二人の姿を見ることが出来、こちら元気をいただくことが出来ました。（丸山・木内）

再び久慈から太平洋沿岸を下り、宮古の丸友しまかさんへ



宮古、丸友しまかさんの加工場。加工場を社員のみなさんが総出で泥かきから清掃。冷凍庫の中で水に浸かった原料の在庫を運び出し（左）、トラックに乗せて処分（右）



しまかさんでは、「今回は全く予想も出来ない事態だった」と。目の前の閉伊川が決壊したわけではなく、川が増水して堤防を乗り越えたものです。河口に建設中の堰が上流からの水をせき止めたためではないかという事です。

記録的な豪雨は間違いないのですが、自然災害だけでは片づけられない一面があるのではないかと思います。

従業員総出の片付け作業をご一緒させていただきました。島香さん、リーダー格の吉田さんがみんな

を引っ張り、女性スタッフを中心に絶妙のチームワークで作業をしているのが印象的でした。普段の仕事ぶりがうかがえました。

1階の資材は全て水に浸かってしまい、2,000万円分の在庫の魚を処分する作業は何ともやり切れないものでした。幸いにも塩水の被害では無いので、思ったよりも早く復旧できるかもしれません。

今回お会い出来た皆さんの想いがこもったお魚を1日も早くいただける事を願っています。（丸山・木内）

第1陣先発隊の情報から、供給チーム4名で9/2 金曜供給終了後、岩泉に第2便物資を



先発隊情報で食糧物資が届いていない岩泉に支援物資を



9/10、土曜を利用して職員支援チーム5名で第3陣が出発します！



9/5 第56回 脱原発と暮らし見直し委員会 報告

2016年9月5日(月) 10時～13時
常総生協本部組合員室 15人参加。

【チーム活動報告】

○市町村のセシウム測定データ収集

新たに土浦のデータを収集することになりました。各自治体とも検査数が減っています。不検出(ND)が多いですが、茗荷などで検出されています。

○児玉先生の著作

「A LETTER FROM JAPAN」他3冊の著作を国会図書館に登録しました。また、先生が売上金の一部を生協に寄付してくださいました。DVDの購入や甲状腺検査などに使わせていただきます。ありがとうございました。

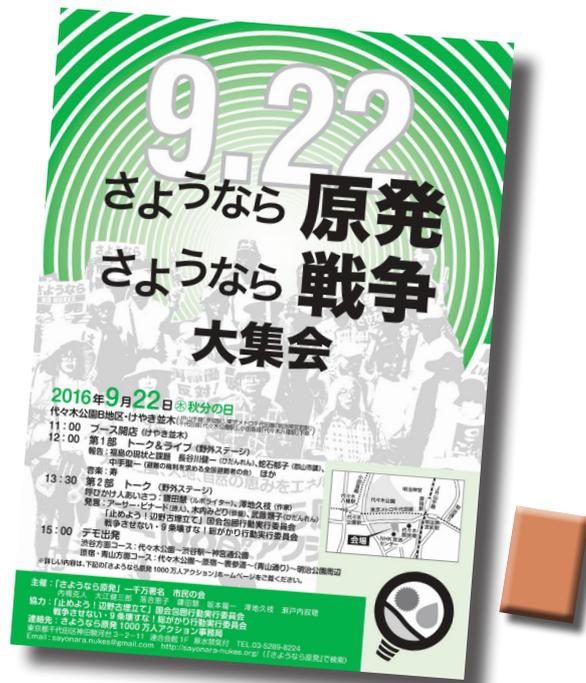
○西尾先生講演会ビデオ上映

7/15(金)に生協で行われた西尾先生講演会のDVD上映会を来月行います。講演会に参加できなかった方どうぞお楽しみに。

○9/22(木・祝) 脱原発1000万人集会(代々木公園)

東海第二原告団+常総生協でテントを出します。ショップに委員がお手伝いに行きます。皆様も是非ご参加ください。

9月22日(木・祝日) 11:00～ 東京代々木公園に集まろう!



★次回の委員会は、10/4(火)13時30分～16時(生協本部)の予定です。

【9月～10月の予定】

●生協基幹運営/地域活動・催し●	●提携・協同・連帯企画●
9.3(土) 朝市・フリーマーケット(本部前広場)	9.2-3 岩手支援(第1便先発隊)
9.5(月) 脱原発と暮らし見直し委員会(第56回)	9.3-4 岩手支援(第2便)
9.6(火) 山本先生の憲法講座・第II期スタート	9.3-4(土・日) しらたかノラの会10周年の集い
9.7(水) 生協まつり実行委員会(第1回)	9.9-10 岩手支援(第3便)
9.10(土) 八街ますだ 落花生堀り・試食体験	9.10-11(土・日) 関東子ども基金 神奈川甲状腺検診
9.13(火) 無農薬三浦大根づくり(種まき) つくば木村農園	9.11(日) 原発事故避難計画勉強会(東海村/原告団主催)
9.17(土) 都留さんの「歴史講座」・第II期スタート	9.17(土) 関東子ども基金 野田甲状腺検診
9.24(土) 乾物料理講習会(第10回) 干し野菜	9.21(水) 関東子ども健康調査支援基金代表者会議
9.24(土) 水海道めぐみちゃん稲刈り	9.22(木/秋分の日) さようなら原発 さようなら戦争大集会(代々木公園 さようなら原発1000万人アクション)
9.28(水) 第5回理事会	
10.1(土) 朝市・フリーマーケット(本部前広場)	10.1-2(土・日) 地方自治研全国集会 in つくば(筑波大) (10/2 TPP分科会にて常総生協報告)
10.4(火) 山本先生の憲法講座II-2 ファジズムと帝国憲法 脱原発と暮らし見直し委員会(第57回)	10.8(土) 関東子ども支援基金 年次報告会(生協本部)
10.15(土) 取手地区手作りバター講座(ゆうあいプラザ)	10.13(木) 東海第二原発運転差止訴訟 第15回口頭弁論
10.22(土) 都留さんの「歴史講座」II-2	10.22-23(土・日) 関東子ども基金 水戸甲状腺検診
10.26(水) 第6回理事会	

8/20 (土) 決起集会 (理事、職員レポート) パート2

心を育てる大切さ!!

今回供給職員による発表がありました。『添加物』『農薬』『石けん』どれも生協の取り組みとして重要なテーマでとてもよかったと思えました。この取り組みは、序章というか、スタートだと思います。継続した取り組みで、それぞれのチームが専門家になれると良いなと思います。しかし、供給業務をしながら自ら勉強するのはかなり負担のあったように感じます。商品部として、もう少しフォロー体制がしけていればその負担も和らいだのかもしれませんが、今回の趣旨としては自らやるという事だったのであまり出ませんでした。今後のところはしっかりと継続のためのフォローをしていきたいと思えます。グループディスカッションでの『危機』というテーマ。いろいろな危機があると出ましたが、A班でも木本さんから気持ちの部分が貧しくなっているのではないかとの意見が出ました。職員も組合員も。心が貧しくなるとすべてがドライな対応になり、常総生協らしさが無くなるのだということを言っているのかなと思えました。気持ちのこもった対応をするにはまずは心を育てないといけない。これは大切なことだと改めて感じました。毎回ではあるが、今回上がった内容をしっかりと普段の業務に生かさないといけない。まずは、情報をしっかりと集め把握し、発信をしっかりとすることを重点課題として取り組みます。

(商品部 井上)

ファンを作っていきたい。

普段はなかなか一緒に顔を合わせる事のない皆さんと同じ時間を共有できてとても有意義な時間を過ごすことができました。他の部署の業務を知ることで、自分達の部署との繋がりを感ずきました。また今後はセットセンターの業務の流れや組合員加入になってからの業務などももう少し詳しく知りたいです。仲間作りの危機に直面し、拡大業務に携わっている私たちへの責任を重く感じました。今後も、常総生協に強く共感してくれる仲間、常総生協を愛するファンを一人でも多く見つけて、繋げて行きたいです。それには私も組合員として商品のお気に入りたくさん見つけ、自分の言葉で熱く語れるように産地見学などで直に生産者さんたちと触れ合う機会があれば積極的に参加していきたいです。その他、感じたこと... 組合員さんと直接接している供給の方達をもつ



とアピールして親近感を持ってもらう為に、キャラクター化したらどうかと感じました。なかなか普段では知ることの出来ない趣味や特技など違った一面が見えたり、イラストなどで似顔絵を描いて、商品のオススメの原稿に登場させたり、ニックネームを付けたり、私たちの加入説明に紹介出来るようにしたいです。他の巨大生協では出来ないことをもっと見つけていきたい。せっけん、添加物、農薬についてもとても勉強になりました。私自身、年頃の娘を持つ母親として経皮毒についてはもっと勉強したいです。まだまだ知らなかったこともあり、とても興味深く学ぶことが出来ました。

(組織部 金崎)

新しい試みだった!!

チームで調査、発表する、という「供給担当」の頑張りを感じました。どのチームも頑張っていてくださったと思うのですが、調べたうえで、常総生協職員としてどう考えるか?という視点がなかったように思い、ちょっと残念でした。はじめの自己紹介と、レクリエーションは、皆さんをつなぐ大事な時間。あってよかったです。

ワークショップは物事を整理して危機管理ができる人材が生協には豊富だと思いました。

おもしろかったのは、「マニュアルが必要だ」という意見と「マニュアル人間ではだめ」という両方ができたこと。レポートも、ネットの情報を写しただけみたいだと面白くなくて、自分との接点がみいだせる、ナマの情報があるチームは興味深かったです。

テーマは遺伝子組み換え、放射性物質についても次回ぜひ。「危機」ビジョンの危機(想い)が一番危機的状況だと思いました。次が人材流出の危機。協同組合らしさが失われかけてはいないか、やや不安に感じました。終えてみて、伊藤専務のお話しが1番良かったです。”自分たちの生協をもっと好きになってほしい” “常総生協の歴史にもっと学んでほしい” ストレートで、胸に響きました。あと、笹沢さんのお話しも。

理事長が、「人と人を繋ぎたい」「もっとよくしたい」という前向きな姿勢を示してくれたのがうれしかったです。



(関東子ども健康調査基金代表 木本)

9/3(土)第2回 JOSO 朝市 & フリーマーケット開催しましたー!!



朝市で組合員さんのワークショップ!! 組合員さん同士の知恵の交流が持てました♪

出店内容と状況

●鈴木牧場

・バター作り (100円) 30人分準備。21人参加。

・チーズ・ヨーグルトの試食と販売



大人気で常時人がいる状態。バターは暑かったこともありなかなか出来上がらなかったが、長居してもらうには良かった。



●野菜救い & 新鮮野菜販売

木村さんから野菜を提供していただいた。子どもに大人気。販売ブースの野菜はやさとの仲間より提供いただきました。



●台風 10 号被害。 岩手県岩泉市、宮古市災害募金ブース

台風 10 号により被災に遭われた (株) 岩泉産業開発、(有) 丸友しまか。みんなの想いを集めました!!



●かき氷



暑かったこともあり、良く売れました。途中で氷が無くなり買い出しに行くことも。。。

組合員のご主人が氷を引いて作ってくれました)o^(

●組合員出店ブース



●ワークショップ

組合員さんによる豆乳マヨネーズづくり。ご来場いただいた方に大好評でした♪

●手作りバック、小物入れ等の販売

組合員さんが自分で手作りしたものを出品しました。



●カイロフラティック

組合員さん自身で開業している方が JOSO 朝市に出張施術してくれました。日頃の疲れを癒してくれます。